



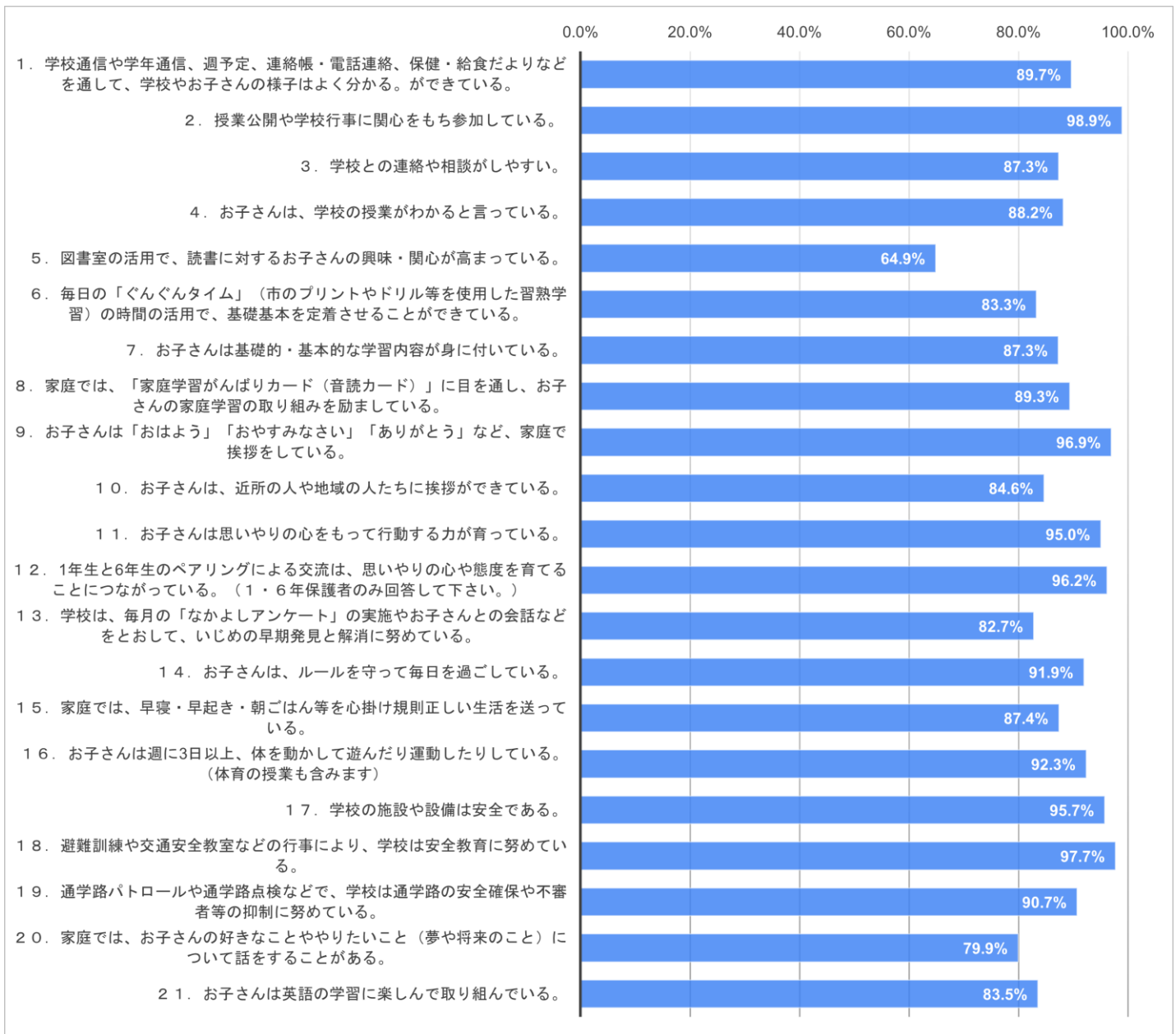
- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子



令和6年7月18日

第1回学校評価保護者アンケート結果

過日実施いたしました、学校評価保護者アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。割合は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計です。



<保護者アンケートの結果から>

児童数428名中262件回答をいただきました。アンケート回収率は61%でした。

結果については、ほとんどの項目で前年同期とほぼ同様の評価をいただくことができました。その中でも、「4.お子さんは、学校の授業が分かると言っている」、「7.お子さんは、基礎的・基本的な学習内容が身に付いている」の2項目は結果がよくなりました。また、「8.お子さんの家庭学習の取り組みを励ましている」の項目も数値が上がっており、ご家庭での支援がお子さんの成長に繋がっていることが分かりました。改めて感謝申し上げます。また、ご意見ご要望の欄についても、ご意見をいただきました。よく検討して、より良い学校運営にいかしていきたいと思えます。

なお、アンケート結果より、次の項目を重点項目と定め、改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

いじめの予防、早期発見、早期解消

「13.学校は、毎月の「なかよしアンケート」の実施などを通して、いじめの早期発見と解消に努めている」の項目は目標値100%に対して結果は82.7%でした。前年度同時期と比べて2.3%低くなってしまいました。学校では協力し合うことの大切さ、温かい言葉がけ、相手の考えを受け入れること、違いを認め合える活動など、授業内はもちろんのこと、教育活動のあらゆる場面を捉えて、よりよい人間関係づくりを意識した指導をしていきたいと思えます。また、人権週間における人権に関する標語を考える活動や集会で標語を紹介する活動、道徳の授業など全教育活動を通して児童の「いじめを許さない」という人権感覚を高めていきたいと思えます。

また、人権教育に関する日々の取組について学校通信等で児童・保護者に積極的に伝えるとともに、日頃から相談しやすい環境を整え、小さないじめを見逃すことがないように子供たちと接し、保護者とも連携しながら、いじめの早期発見、早期解消に努めていきます。

<児童用アンケートの結果から>

自分の夢や将来について

児童用アンケートで66.4%と毎年80%を大きく下回っている項目が「20.家庭で、お家の人と自分の好きなことややりたいこと（夢や将来の）について話をするところがある」です。

学校では、子どもたちの主体的な活動を促しながら、一人一人の多様性やお互いを認め合い、高め合う人間関係の醸成ができるよう指導しています。また、日々の生活や学習に意欲を振り返る授業、多様な生き方にふれる体験活動や進路指導も推進していきたいと考えています。ぜひご家庭でも、お子さんのやる気を高め、自主性を尊重した声かけをお願いします。

読書について

「5.図書室の活用で、読書に対する興味・感心が高まっている」の項目は、保護者64.9%に対し、児童は87.8%となっています。家庭では、読書以外の多様な過ごし方が増えていて、お家で読書をしている児童が減っているようです。学校では毎日、朝読書や隙間時間の読書など、本と親しむ時間があるため、児童の読書の意欲は高い傾向があるようです。

英語の学習について

伊勢崎市では、全学年週2時間の英語の授業を行っています。児童アンケートの「21.英語の学習はたのしい」の項目は目標値80%に対して結果は88.1%で、前年度同時期と比べて11.3%高くなりました。今後も、全職員で指導の工夫に努め、イングリッシュサポーターやALTとの連携を強化し、意欲を持って取り組めるよう更に授業改善を進めていきます。

ご家庭でも、英語でどんな学習をしているのか聞いたり、生活の中にあるアルファベットや英語を見つけたり、身近な英語に興味を持つような声かけをしたりしていただけるとありがたいです。